

徳島県にし阿波地域

急峻な山の傾斜地農耕で培われた
里山の食文化を満喫する旅

世界農業遺産・日本農業遺産
「にし阿波の傾斜地農耕システム」

徳島県の「にし阿波」は、面積の約85%が森林で占められる地域。人々は昔から山の斜面に家を建て、場所によっては傾斜角40度にもなる傾斜地をそのまま畑として利用してきました。カヤ（ススキなどの草）を乾燥させて肥料とし、独自の農具を発達させ、日の当たり方や標高、地形によって農産物を変えるなどの工夫で、雑穀、野菜、果樹、茶、山菜など約140品目の作物を生産しています。この地域ならではの雑穀も多く、豊かな食文化が育まれています。



①下に流れた土を回復させる「ツチアゲ」の作業 ②「西祖谷の神代踊」は平安時代初期に起源を持つといわれる民俗芸能 ③郷土料理のそば雑炊 ④カヤを円錐形に積み上げた「コエグロ」。細かく刻んで畑に入れることで肥やしとなり、土の流出も防ぐ



サステナブル・ツーリズム

農業遺産を旅しよう

【兵庫県丹波篠山地域・兵庫県南あわじ地域・徳島県にし阿波地域】

1日目

JR徳島駅

▼ 車で約50分



脇町うだつの町並み

江戸時代から阿波藍の集散地として栄えた商家町。ガイドツアーに参加すると各時代の建物の特徴や歴史の理解が深まります。

住所：徳島県美馬市脇町
電話：0883-53-8599 (美馬観光ビューロー)



▼ 徒歩すぐ

阿波天然藍染やまうち うだつ工房

うだつの町にある藍染の工房。伝統製法で作った染料を使い、ハンカチやスカーフ、エコバッグなどの藍染体験ができます。

住所：徳島県美馬市脇町大字脇町字突抜町45-1
電話：0883-52-5168



▼ 車で約40分

そばの花咲く猿飼観光農園

傾斜角40度の畑を体感できる絶好の場所。毎年9月下旬から10月中旬のそばの花が咲く期間のみ一般開放されています。

住所：徳島県美馬郡つぎ町貞光猿飼
電話：0883-62-3111(つぎ町役場産業経済課)



▼ 車で約2時間

つづき商店 奥祖谷めんめ塾体験工房

東祖谷地方の郷土料理、祖谷そば作りの体験。そば粉を作るところから始め、作業中は地元の民謡を聞かせてもらえます。

住所：徳島県三好市東祖谷若林84-1
電話：0883-88-5625

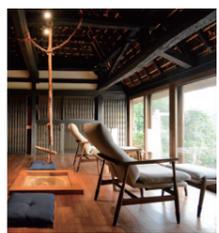


▼ 車で約20分

宿泊 桃源郷祖谷の山里

高低差約390mの山の斜面に古民家が点在する落合集落。そのうち8軒が一棟貸しの宿泊施設として利用され、暮らすように滞在できる場所として人気を集めています。自炊のほか郷土料理などのケータリングもできます。

住所：徳島県三好市東祖谷落合403
電話：0883-88-2540



2日目

桃源郷祖谷の山里

▼ 車で約35分



祖谷のかずら橋

シラクチカズラを編み連ねてつくられたつり橋。長さは45m、重さは約5トンで3年ごとに架け替えられます。歩くヒョウヒと揺れ、橋床の隙間から谷底が見えてスリル満点！祖谷川の清流や琵琶の滝も必見です。

住所：徳島県三好市西祖谷山村善徳162-2
電話：0883-76-0877 (三好市観光案内所)



▼ 車で約25分

大歩危峡観光遊覧船



国の名勝と天然記念物の両方に指定されている大歩危小歩危。その中の上流4kmが大歩危渓谷です。清流吉野川を観光遊覧船で往復し、2億年の歳月をかけて自然がつくり出した、大迫力の岩の渓谷美を楽しめます。

住所：徳島県三好市山城町西宇1520
電話：0883-84-1211



▼ 車で約45分

民宿うり坊



猟師の木下正雄さんが営む民宿で、ジビエランチと農業体験を楽しめます。鹿肉と猪肉がふんだんに使われたランチはボリュームたっぷり。農業体験は野菜収穫やこんにやく作りなど季節ごとによります。

住所：徳島県三好郡東みよし町東山内野29
電話：0883-87-8988(一般社団法人その郷)



写真提供・一般社団法人その郷

▼ 車で約1時間20分

JR徳島駅

大阪からのアクセス

鉄道・バスをご利用の場合

JR大阪駅 → JR三ノ宮駅 (徒歩) → 阪神神戸三宮バス停 → JR徳島駅

JR神戸線で約30分、三ノ宮駅下車。徒歩約3分、阪神神戸三宮バス停から徳島バス、徳島駅前行きで約2時間

自動車をご利用の場合

大阪方面 → 阪神高速、神戸淡路鳴門自動車道、徳島自動車道 約2時間40分 → 脇町I.C.

農業遺産とは。

農業遺産として認定された地域では、おおむね100年以上の間、脈々と受け継がれてきた伝統的な方法で農業・林業・漁業が営まれています。これらの伝統的な農林水産業は、地域の気候、地形、歴史的背景などに育まれて形成されたもので、そこにしかない、地域固有の食文化や風土・景観を生み出しています。

農業遺産に認定された農林水産業は、自然資源（土壌や森林、水産の資源）を枯渇させない資源循環システムを有しており、環境負荷が少ないため、日本固有の生き物を含む生物多様性の保全にも貢献しています。農業遺産は、社会や自然の変化に適応しながら進化を続けている「生きている遺産」です。

農業遺産には、国連食糧農業機関(FAO)が認定する世界農業遺産と、農林水産大臣が認定する日本農業遺産があります。

国内には世界農業遺産●が15地域、日本農業遺産●が28地域あります。【両方に認定されている地域●】(令和7年1月時点)



関西近郊の
おすすめ3地域

兵庫県丹波篠山地域
兵庫県南あわじ地域
徳島県にし阿波地域

農林水産省

発行元/問い合わせ先
農林水産省 農村振興局 農村政策部 鳥獣対策・農村環境課
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番地1号 TEL: 03-3502-8111 (内線5621)

世界農業遺産・日本農業遺産に関する情報は、農林水産省ホームページにも掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/index.html>

農業遺産の観光情報はこちら
https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs_7/index.html



兵庫県丹波篠山地域

300年続く黒大豆の郷で
田園風景と伝統文化を楽しむ旅

日本農業遺産
「丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史」

兵庫県丹波篠山市は、日本有数の黒大豆の名産地。その歴史は300年以上前にさかのぼります。この地域は雨が少なく、水不足に悩まされていたことから、稲を植えない「犠牲田」を設け、そこで黒大豆を栽培するようになりました。畝を高くすることで土を乾燥させて畑作を可能にし、灰屋（はんや）と呼ばれる小屋で木の枝やわらなどを土と重ねて焼き、その灰を肥料にして自然資源を循環させてきました。市内には今も約260の灰屋が残されています。



●丹波たぶち農場の黒大豆の畑。秋の収穫期は黒大豆を買いに訪れる人で賑わう●兵庫県丹波地方発祥の品種「丹波黒」。黒大豆としては世界最大級の大きさを誇る●小田垣豆堂の黒豆きなこのソフトクリームパフェ●市内に点在する灰屋。昔ながらの農村風景を伝えている

1日目

JR篠山口駅(JR宝塚線・福知山線)

篠山口駅東口サイクルポート、篠山観光案内所には市内観光に便利なレンタサイクルがあります。詳しくはこちら→



▼ 車で約9分

丹波たぶち農場

7～8月に行われるファームツアーでは、伝統農法が生まれた理由やブランド豆「丹波黒」のおいしさの秘密を学べるほか、夏枝豆の収穫体験、試食ができます。10月上旬から11月上旬は黒枝豆狩り体験ができます。

住所：兵庫県丹波篠山市口阪本158-3
電話：090-8650-0415



▼ 車で約4分

ヘリテージフットパス

のどかな里山をめぐる、約1時間の周回散策路。地元ガイドの案内で見学が可能です（詳細は要問合せ）。電線や通信柱が見えない昔ながらの田園風景や、肥料づくりのための灰屋が10軒ほど残っており、伝統農法を今に伝えています。

住所：兵庫県丹波篠山市大野・矢代周辺
電話：079-552-1114（丹波篠山市農都政策課）

▼ 車で約10分

篠山城跡・篠山城大書院

篠山城は江戸初期に徳川家康の命で築かれました。その中核となった大書院は、一大名の書院としては破格の規模と建築様式を誇ります。館内には篠山城の歴史が展示され、甲冑（かっちゅう）、打掛の着付け体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市北新町2-3
電話：079-552-4500



▼ 車で約15分

宿泊 集落丸山

山裾に広がる丸山集落にある一棟貸しの古民家宿泊施設。元の間取りを残しながらモダンで使いやすく改装されています。朝は集落の方が台所に来て、炊き立てのご飯や地元の食材を使った朝食を用意してくれます。

住所：兵庫県丹波篠山市丸山30
電話：079-506-0243



2日目

集落丸山

▼ 車で約13分

丹波篠山市立歴史美術館

かつての裁判所を改装した美術館。木造建築の裁判所としては国内最古級で市文化財に指定されています。旧法廷が見学できるほか、武具や美術品などを展示。篠山藩窯王地山焼の箸置きや勾玉を作る体験もできます。

住所：兵庫県丹波篠山市呉服町53
電話：079-552-0601



▼ 徒歩約14分

河原町妻入商家群

篠山藩の商業の中心地として栄えたエリア。江戸時代の城下町の姿を今に伝える町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれています。歴史ある商店のほか、カフェや雑貨店もあり散策が楽しい通りです。

住所：兵庫県丹波篠山市河原町
電話：079-552-3380（篠山観光案内所）



▼ 徒歩約1分

小田垣商店

創業290年を誇る老舗黒豆専門店。明治時代には農家に黒大豆の種を販売し、生産物を買って上げて全国に販売し「大玉丹波黒大豆」の名を広めました。館内のカフェ「小田垣豆堂」では黒豆のスイーツも楽しめます。

住所：兵庫県丹波篠山市立町19
電話：079-552-0011



▼ 車で約12分

JR篠山口駅

大阪からのアクセス

鉄道をご利用の場合



自動車をご利用の場合



兵庫県南あわじ地域

水稲・牛・たまねぎの循環システムが育んだ
淡路島のおいしいものを訪ねる旅

日本農業遺産「南あわじにおける
水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム」

兵庫県淡路島の南あわじ地域では、農地が少なく水に恵まれない「島という環境」に適応するため、ため池、河川、水路や地下水を組み合わせたかんがい施設が発達し、稲刈り後にたまねぎを栽培する二毛作が行われてきました。それにより、稲わらを乳牛の飼料とし、牛ふんを堆肥化させたものを土にすき込んでたまねぎを栽培する循環システムが確立されています。太陽光と海風でたまねぎを乾燥させる「たまねぎ小屋」はこの地特有の風景です。



●甘くてやわらかい淡路島たまねぎ。南あわじ市におけるたまねぎの作付面積は全国4位を誇る●自然の風でたまねぎを乾燥させるたまねぎ小屋●農業用水を公平に分配するために設けられた円筒分水●現在も数軒の農家が「長屋門」とよばれる門の中で牛を飼育している

1日目

洲本バスセンター

▼ 車で約22分

淡路ファームパーク イングランドの丘

広大な敷地を誇る農業公園。収穫体験ができる野菜畑、トマトやいちごの温室のほか、コアラやワラビーなど約30種類の動物も見学できます。レストランでは淡路牛と淡路島たまねぎを使った「うし重」が大人気。

住所：兵庫県南あわじ市八木養直上1401
電話：0799-43-2626



▼ 徒歩約2分

美菜恋来屋(みなこいこい)

淡路島のおいしいものがそろった直売所。売り場面積日本最大級を誇るたまねぎをはじめ、鮮度抜群の野菜、ブランド牛の「淡路ビーフ」、乳製品、近海の魚、地ビールに名産のそうめんも充実。淡路島のみやげ探しに最適。

住所：兵庫県南あわじ市八木養直上1408
電話：0799-43-3751



▼ 車で約12分

淡路島濱田ファーム

たまねぎ農家の濱田哲司さんから、淡路島たまねぎの歴史や栽培の工夫、おいしさの秘密などのお話を聞いた後、たまねぎの植え付けや収穫体験（9～6月）。それ以外の期間はたまねぎの袋詰めが体験できます。

住所：兵庫県南あわじ市松帆志知川1860-1
電話：090-1582-7592



▼ 車で約40分

宿泊 アグリミュージアムNADA

廃校になった小学校を活用した宿泊施設。「校庭トマト」、「教室バジル」を栽培しており、これらを収穫してピザ作りが楽しめます。釣った魚をさばり食べる体験や地域食材のパフェも人気です。（要問合せ）

住所：兵庫県南あわじ市灘山本313
電話：070-9012-1349



2日目

アグリミュージアムNADA

▼ 車で約22分

サザンバード 農業遺産ツアー

淡路島の農業を深掘りするツアー。かつて農家が牛を飼っていた「長屋門」と呼ばれる屋敷構や、ため池が密集する風景などを見学。たまねぎの収穫やつり干し（時期によってはたまねぎジャム作り）を体験します。

集合住所：兵庫県南あわじ市賀集生子963
電話：080-4236-0626



▼ 車で約12分

淡路人形座

淡路島の郷土芸能、淡路人形浄瑠璃を毎年上演する常設館。公演前には演目のあらすじやみどころ、人形の動き方も解説されます。バックステージ見学と短い演目の鑑賞を組み合わせたいプログラムも人気です。

住所：兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先
電話：0799-52-0260



▼ 車で約12分

うずの丘 大鳴門橋記念館

大鳴門橋と鳴門海峡を見渡せる商業施設。巨大たまねぎのオブジェ「おっ玉葱」は撮影スポットとして人気。たまねぎが主役のハンバーガーにたまねぎのクレーンゲームもあり、たまねぎ尽くしの時間が過ごせます。

住所：兵庫県南あわじ市福良丙936-3
電話：0799-52-2888



▼ 車で約30分

洲本バスセンター

大阪からのアクセス

鉄道・バスをご利用の場合



自動車をご利用の場合

